

いずもぎき

議会だより

第78号

2013

平成25年1月10日



12月定例会

もくじ

- | | | |
|-------------------|-------|----|
| ・ 12月定例会 | | 2 |
| ・ 全員協議会 | | 4 |
| ・ 一般質問（4人が町政をただす） | | 5 |
| ・ 町民の声「古稀雑感」 | | 10 |

開園を待ついちご畑
(去年のスナップ)

道路新設改良舗装工事追加（船橋田中線） 浄水場整備工事追加（小木地内）

1250万円
9430万円

議会報告3件、平成24年度一般会計・特別会計補正予算、条例制定、人事案件など議案12件が提出され、慎重審査の結果、原案のとおり可決・承認しました。なお、請願1件を採択し、発議3件、意見書1件を可決しました。

可決した条例改正など（主なもの）

◆良寛記念館の設置及び管理に関する条例制定（新規）

・良寛記念館を町に移管することに伴う条例制定。
博物館法に基づき、良寛記念館の行う事業、入館料、職員や、指定管理を行う場合の手続き方法を定めるため。

◆町新生活支援金支給に関する条例の一部改正

・来年度売り出す「やまや団地」にも適用するための条例改正。

※町新生活支援金……40歳以下の夫婦又は、中学生以下の子どもがいる世帯が転入した場合、100万円が支給されるもの。

◆町議会委員会条例の一部改正

・地方自治法の一部改正により、法で規定されていた委員の選任方法、在任期間等が条例に委任されたため。

◆町議会会議規則の一部改正

・地方自治法の一部改正により、本会議における公聴会の開催、参考人の招致が行えるようになったため、会議規則を改正するもの。

◆町議会政務活動費の交付に関する条例制定（新規）

・地方自治法の一部改正により、政務調査費が、政務活動費に改められたため。

請願

請願第1号

採択に決定

「豊かで健康な森林づくり県民税」創設を求める意見書の提出を求める請願書

可決した意見書

◆「豊かで健康な森林づくり県民税」創設を求める意見書

提出先

新潟県知事



採決のようす

人事案件

平成25年4月1日から3年間

人権擁護委員の推薦に同意

石川 豊（羽黒町）

12月定例会

(会期 12月10日～14日 5日間)

* 12月定例会で決まった補正予算 *

| 会 計 | | 補 正 額 | 補正後の予算額 |
|------------------|-----------------|----------|-----------|
| 一 | 般 会 計 (第3号)(専決) | 424万円 | 33億4116万円 |
| 一 | 般 会 計 (第4号) | 1801万円 | 33億5918万円 |
| 一 | 般 会 計 (第5号) | 50万円 | 33億5968万円 |
| 特 別 会 計 | 国民健康保険事業 (第2号) | 2975万円 | 6億2808万円 |
| | 介護保険事業 (第2号) | 54万円 | 7億1765万円 |
| | 簡易水道事業 (第1号) | 1億 700万円 | 3億1570万円 |
| | 住宅用地造成事業 (第2号) | 102万円 | 656万円 |

主な歳出 (△は減額)

一般会計補正予算(第3号)(専決)

- ・ 衆議院議員総選挙及び最高裁判所
裁判官国民審査に伴うもの
(職員手当、立会人報酬、ポスター掲示板等) …424万円

一般会計補正予算(第4号)

- ・ 障害福祉サービス費追加
(利用者の増加によるもの) …… 2360万円
- ・ 障害児給付費 …… 290万円
- ・ 出雲崎保育園保育実施委託料減 … △601万円
- ・ 小木之城保育園保育実施委託料減 … △183万円
- ・ 農地面的集積促進事業費補助金 …… 350万円
- ・ 青年就農支援事業補助金 …… 225万円
- ・ 海岸背後地整備工事減
(住吉町地内工事延期のため) … △1200万円
- ・ 除雪機械減
(入札によるもの) …… △650万円
- ・ 防火水槽設置工事減
(工事延期のため) …… △1115万円
- ・ 消防団員費用弁償追加
(出勤多数のため) …… 138万円

一般会計補正予算(第5号)

- ・ 新規採択申請資料作成業務委託料
(八手地区土地改良) …… 50万円

国民健康保険事業特別会計(第2号)

- ・ 一般被保険者療養給付費追加 …… 2014万円

介護保険特別会計補正予算(第2号)

- ・ 要介護認定事務システム
改修委託料 …… 54万円

簡易水道事業特別会計(第1号)

- ・ 浄水場整備工場設計業務委託料
(小木地内) …… 770万円

住宅用地造成事業特別会計(第2号)

- ・ 団地宣伝広告業務委託料 …… 225万円
- ・ 用地測量業務委託料減 …… △161万円

全 員 協 議 会

主な質疑について報告します。

第9回 11月12日開催

◎除雪機の貸出しについて

総務課長 この冬より総務課で小型除雪機1台（公共施設用）、建設課2台（町道用）の貸出しを行います。

窓口は建設課で予約、総務課で操作説明ののち、貸出しを行います。

議員 町の貸出し用除雪機は保険加入しているが、集落で個人所有の機械を借りた場合、保険は申請すれば加入できますか。

建設課長 個人が所有する機械の保険加入は考えていません。

◎津波防災訓練について

議員 11月11日に実施された訓練について、不参加者が多いが理由は何なのか、参加したくとも出来ない生活弱者がいますか。

町長 訓練に参加できなかった理由の調査は必要と思います。避難の大切さを町民の方にもっと感じてもらいたい。

議員 訓練では自主防災会の方が中心に行動されていたが、5集落で組織ができていないと聞きますが、海岸地区では早急に組織すべきではありませんか。

総務課長 全集落の組織結成に努力します。

◎諏訪本町地内の避難道路の整備について

建設課長 戸川時計店さん隣の土地を町に寄付をいただき、避難道路を整備したい。

第10回 12月14日開催

総務課長 消防署分遣所移転については、役場下の町有地（旧東北電力跡地）を候補地として調査したい。

議員 現建物については、役場庁舎が狭く、会議室などが不足している。解体しないで活用すべきと思うが。

総務課長 建物は柏崎市の所有です。用途については、今後話し合いを持つこともあると思います。



移転予定の分遣所

◎小中学校地域安全マップの作成について

教育課長 青少年育成町民会議で登下校時の児童・生徒の安全確認に活用すべく、マップを作成し、関係者（スクールガード等）に配布しました。

議員 通学路で暗いところなど改善を考えていますか。

スクールガードの方はボランティアで年中ご苦労されています。せめて制服は夏用と冬用を用意すべきではないですか。

教育課長 暗いところなどは1人で行くのを避けるよう啓発活動を進め、道路については担当課と協議検討を行いたい。制服については改善してまいりたい。

議会の予定（主なもの）

（平成24年10月～12月）

| | |
|--------|-----------------------------|
| 10・1 | 議会報特別委員会（議会だより77号） |
| 9 | 出まえ議会（西越地区農環センター） |
| 10 | 出まえ議会（川西公会堂） |
| 11 | 出まえ議会（八手地区農環センター） |
| 12 | 出まえ議会（海岸公民館） |
| 17（19） | 群馬県千代田町議会視察受入れ |
| 26 | 議員行政視察（石手県葛巻町、雫石町） |
| 11・6 | 議会運営委員会 |
| 8 | 町村議会議長・副議長・委員長・事務局長研修会（新潟市） |
| 12 | 総務文教常任委員会（学校視察） |
| 11 | 山形県最上町議会行政視察受入れ |
| 12 | 第9回全員協議会 |
| 28 | 宮城県丸森町議会運営委員会視察受入れ |
| 12・3 | 議会運営委員会 |
| 10 | 12月定例会召集日 |
| 11 | 定例会2日目（一般質問） |
| 12 | 予算審査特別委員会 |
| 12 | 社会産業常任委員会 |
| 14 | 議会報特別委員会（議会だより78号） |
| 14 | 総務文教常任委員会 |
| 14 | 議会運営委員会 |
| 14 | 定例会最終日 |
| 19 | 第10回全員協議会 |
| 21 | 議会報特別委員会（議会だより78号） |
| 25 | 社会産業常任委員会（環境問題） |
| 25 | 議会報特別委員会（議会だより78号） |

一般質問

おたずねします

お答えします

農業の活性化のために

消費方法

販売方法は

質問 過去数回にわたり、農業、特に基幹作物である稲作について、質問をしてきました。出雲崎産コシヒカリ汐風米については、見解の一致はできませんでした。

汐風米は出雲崎コシヒカリの宣伝に使うものでブランド化はしない（20年6月）、ブランド化を考え商標化はしたが、大量化は不可能に近い（22年3月）、と答弁されました。宣伝用に使われている汐風の消費方法、販売方法について伺います。

贈答米が主流

答弁 汐風米については、贈答米として、観光大使、おけさ大使、イベント関係、高額ふるさと納税者などに、送っているのが主軸になっています。残った米については天領の里等で販売しています。買いためた方からは、次にも欲しいと好評です。

生産コストは

質問 栽培するために委託料が出ています。宣伝用とはいえ、生産コストはどのくらいですか。また、担当課の手伝いがあると聞きますが、コストの中に含まれていますか。

ハザ掛けが一番

答弁 春作業に始まり、中間管理、一番費用がかかるのは、海岸に持って行って、ハザにかける経費です。本年度は、若干経費が減額されて清算することになっています。計算づくめでは物事は味も何もありません。

効果のあらわれは

質問 汐風米コシヒカリは、平成20年に全国発信され、現在に至っており、行政の直接

介入であり、効果についての調査や、出雲崎産コシヒカリに対する、効果のあらわれがありますか、お尋ねいたします。

汐風米も

答弁 出雲崎の農家の皆さんから努力をいただき、今年もコシヒカリの一等米比率が、90%で県下1位です。JAの倉庫から出雲崎の米が最初に無くなるなど、汐風米もその一環を担っており効果はあったと思います。



田中元 議員



汐風米作業風景



三輪 正 議員

希望のある予算編成を

質問 当町もまた全国的にも人口減少、福祉の充実、雇用の確保等問題が多いが、町民が将来に向かって、希望の持てる町とするために、町長は平成25年度予算編成について、どのような方針か伺います。

**五年・十年先を考え
て編成**

答弁 一言で申し上げるならば、「しなやかにして安心のある中に、ぬくもりを感じる町づくり」を基本にあげております。

短絡的な一年でなく、五年、十年後の町民の皆様の願いを、具現化するべく考えております。

質問 出雲崎町の五年、十年後の町の姿は、こういうのだという方向を、示してもらいたい。当町の財政状況は県内

でも上位にあります。効率的な取捨選択した予算執行で、「出雲崎に生まれ、住んで良かった町、また町外から出雲崎に住みたい町づくり」が、一番の理想ではないかと思いますが、町長の計画なり、夢をぜひ聞かせて欲しい。

**町民の力を引き出す
方策を**

答弁 財源を考えながら、具体的には防災関係で、防災行政無線のデジタル化、消防署分遣所の移転、また良寛記念館の直営化、八手地区の土地改良などを進めたい。

また、町民の力を引き出すことにより、町の活性化が進むので、そのための組織を立ち上げるため、努力をしたいと思えます。

今後の除雪対策は



道路に倒れた竹(12月の降雪時)

質問 除雪車の増車など対策を進められているが、毎年道路脇の樹木や竹などが、雪の重みで道路に倒れ、除雪の支障や、交通事故の恐れがあります。町も協力を呼びかけておりますが、あまり効果がありません。有効な方法を考えるべきと思うが、町の考えを伺います。

答弁 道路脇の樹木は支障になつておりますが、基本的に個人の財産であり、勝手に切

集落等の協力を

答弁 出来るだけ細やかな対応をしたい。小型除雪車の利用も柔軟に考えたい。特に困りの場合は、担当課に連絡をしてもらえれば、対応を考えて参ります。

細やかな対応をする

質問 高齢者や要援護者世帯の、玄関までの除雪の対応は。
答弁 出来るだけ細やかな対応をしたい。小型除雪車の利用も柔軟に考えたい。特に困りの場合は、担当課に連絡をもらえれば、対応を考えて参ります。



仙
海
直
樹
議員

5歳児健診の導入を

質問 5歳児健診とは、軽度の発達障がいや早期に発見するための一つの方法です。発達障がいは、3歳児健診では気づきにくく、就学時健診では適切な対応が遅れがでてしまうことが示唆されています。

発達障がいの早期発見・早期療育のために、5歳児健診の導入が必要と考えますが、町長の考えをお聞かせください。

動向を見ながら

答弁 実施するには、発達障がいや、適切に診断することが出来る専門医師や、臨床心理士を確保することが必要です。また、診断後の子どもや親を、支援する体制の整備も必要であるために、課題も多く、今後、県や他の自治体の動向を見ながら進めて行きたい。

質問 現在当町では5歳児健診を行っていませんが、それに代わるものとして、どのような取り組みを行っていますか。

巡回指導などを

答弁 3歳児健診などの診断結果に基づき適切に指導を行っています。また、そのフォローとして臨床心理士による保育園の巡回指導を実施し、早期発見・早期療育・保護者への気づきに対し保健師や現場のスタッフと共に支援を行っています。

町としての支援は

質問 発達障がいの可能性や傾向性がある場合には、どのような支援を行っているか伺います。

答弁 専門の医師や学校教師・保健師など、連携しながら個別支援計画を作成し

て、一人ひとりに適した支援を行っています。

また、柏崎市の早期療育事業も利用できる体制も取っています。

就学に向けての支援としては、家庭児童相談員や保健師の相談窓口の充実、保育園からの就学指導委員会への円滑な引き継ぎを行っています。

質問 就学時健診（毎年10月から11月の間に実施）において、発達障がいが発見されても、小学校入学までに時間が少なく、親が事実を受け入れるまでに時間がかかり、状態を悪化させかねませんが、この事について、どう考えますか。

答弁 なかなか、率直に受け入れてもらえない所に、問題がある事も承知しています。が、お子さんのためにも率直に認めてもらい一体となって積極的に対応し早期治療・早期療育をして頂きたいと考えます。

質問 5歳児健診の導入により発達障がいに対する発見を早期に行い、支援を開始することで、全ての子ども達が、個性・能力を十分に発揮し、楽しく学校生活が送れるように整備を行って頂きたいと思うのですが、いかがですか。

答弁 5歳児健診については、国も対応を考えていますが、当町においても、町なりの対応を前向きに検討してまいりたいと思います。



子どもは風のこ



宮下孝幸
議員

津波避難訓練の今後について

本年度、2度目となる津波避難訓練から見えてきた問題点で、大きく次の3点に絞り質問いたします。

質問 昨年の参加者は48名。本年が47名。これは、海岸地区人口の、およそ35%にあたります。

問題は、参加された方々の中で、第一波到達予定時間までに、避難完了出来なかった方々が、207名もいたということです。

今後、より多くの参加者を募る必要性や、これらの問題をどの様に考えるのか、その見解を伺います。

答弁 自分の身は自分で守るという、東日本の教訓を風化させない為にも、職員はもとより、市民の危機管理意識の高揚を図るため、津波セミナーのDVD配布など、更なる啓蒙・啓発活動を、危機感を持つて続けて参ります。

質問 指定された津波避難道は、急傾斜の坂道や、多くの

階段を上がる階段道ですが、高齢者の避難を考える時、せめて手摺の設置や、外灯（避難誘導灯）などの整備、あるいは、避難経路の再考などの検討をすべきと考えますが、見解を伺います。

答弁 ただ今業者と、検討中ですが、5カ所程度の、避難道の整備を進めております。

停電時にも、太陽光蓄電による、避難案内板なども設置いたします。また各家庭においても、懐中電灯などの備えを広く呼びかけていきます。

万一の時の呼びかけも、「避難をしないさい」などの強い口調で、行う必要があると考えています。

質問 昨年も本年も、参加したくとも参加できず、自力での避難が困難な「要支援・要介護」を必要とする多くの方々の避難に対し、地域限定車両による、疑似的避難訓練は絶対に必要です。

「津波でんどこ」の考え



指定避難場所から見る冬の日本海

方と、渋滞から起こる被害拡大に対する懸念は、私も十分理解が出来ます。

しかし、誰かの手を借りなければ、助ける事の出来ない多くの命が存在する以上、訓練によるシミュレーションは必須です。訓練により明らかになる、真の問題点を検証し、洗い出す為にも、是非、限定車両による避難訓練を行うべきと考えますが、見解を伺います。

答弁 確かに議員ご指摘の要援護者の救済は難題です。

まずは地域における、それらの方々を把握し、健常者が背負うなり、手を引くかなりの徒歩での援護避難を基本とし、あくまでも、その上で、限定的車両避難の必要性や、詳細な状況把握、あるいは分析を元に、今後の対応を検討して行かなければならないと考えています。

行政視察報告

(平成24年10月17日～19日)

岩手県 葛巻町

くずまき

自然エネルギー活用の 取り組みについて

葛巻町は、町の中心部を北緯40度ラインが通る、岩手県北部の人口約7200人、総面積約435km²の町です。町の86%を森林が占め、その広大な土地を利用したの牛の放牧、自生の山ブドウを使ったワイン作り、風力・太陽光などを利用したクリーンエネルギー発電に取り組んでいます。

また、エコ活動推進事業として、クリーンエネルギー自動車やLED照明、資源回収事業にも補助金を出し、町全体でクリーンエネルギーの活用を推進しています。現在では、県外から多くの視察を受け入れ、町の活性化が図られています。

クリーンエネルギーの取り組みについては、風力発電は15基の発電用風車が運転され、総出力は2万2千200kw、発電した電気は全て売電しています。太陽光発電については、葛巻中学校にパネルを設置し、学校で使用した分を除いて売電をしています。

ほかにも町内の避難所となっている25カ所のコミュニティ



自然エネルギーの活用

(仙海 直樹)

岩手県 雫石町

しずくいし

生活交通対策と 菜のテクノロジープロジェクトについて

雫石町は、盛岡市の西方16kmに位置し人口約1万8千人、総面積約609km²、81%を森林が占める町です。

デマンド方式による生活交通対策は、町内で完結する全てのバス路線が運行を打ち切られることになり、公共交通の空白地域が拡大し、十分な住民輸送サービスが確保できなくなるために導入しました。

運営は町がNPOに委託し、NPOから地元タクシー会社へ運行業務が委託されています。雫石駅を中心に6路線、延べ200カ所の停留所を設け、予約が無ければ運行をしないシステムで、平成21年は約2600人が利用しました。この運行費には約3800万円が委託料として掛かっています。また、高齢者の、免許の取得率が高いこともあり、乗者数も減少傾向にありました。

当町において出まへ議会でも、このような話が住民から出ており、十分に検討が必要と考えます。

また、菜のテクノロジープロジェクトは、総務省の『頑張る地方応援プログラム制度』を利用し、菜の花を用い

て、景観形成だけでなく環境循環型農業の確立、地元農産物及び加工品の販売、障がい者の社会参加・協働による町づくりを推進するものです。

菜の花を集落の営農組織が栽培し、地元企業が買い取り、それを福祉作業所の方で搾油、瓶詰め等をして出荷していました。

今後の課題としては、在庫の問題があり、販路などを含め検討が必要とのことでありました。循環型農業と、障がい者の社会参加の面では、大変参考になったと思います。福祉作業所の方の、生き生きとした姿に深く感銘を受けました。

(仙海 直樹)



加工所 (作業風景)

町民の声

古稀雑感

大寺 小林 正行



合唱団の仲間たち

父も祖父も七十三で逝ったので、私もそろそろ身の回りの整理を始めなければならぬ。三人の子供達は成人し、多少、心配はあるが、それぞれ自分自身を生きていく。あとは本人達の責任である。

今年、妻と私は長岡と柏崎での「第九」に参加することにした。当日の出来はともかく、半年間の練習を通じて得た充実感は、他に代えられない。シラーの詩による、人間の自由と平等、連帯と平和を求めるこの民主主義讃歌は、国や時代を超え、私達を勇気づけてくれる。

それにしても、戦争や原発事故のような、致命的な痛手を負っても、またぞろ、そこに立ち戻りそうなの、近頃のこの国の気配は一体、何なのであろうか。

子孫のために、「第九」を歌おう。平和の旗を降ろしてはならない。

表紙の小話



昨年からは始まった、いちご畑のスナップです。場主によりますと、本当に来場者があるか心配だったそうです。無農薬に近い栽培、リピーターのくちコミによる来場者の増加、一年目にしては、上々のできとのことでした。

小さな子どもたちの笑顔がなんともいえない可愛さ、嬉しさが表れております。

一人でも多くの方の来場があるよう、昨年準備の間に合わなかった三棟目も完成し、来月の開園に向け、いちごも頑張っているようです。

新しい農業形態の一步を踏み出した、場主の努力に期待するとともに、40年前、自分が子どもを旅行に連れて行った頃を思い出して、昨年の方の来場と、孫のような子どもたちの笑顔が、倍増することを、念じてやみません。(田中 元)

編集後記

議会報の編集メンバーとなつて3年半、第78号で15回目の発行となります。

編集で常に意識していることは、「議会活動の内容をいかに町民の方に知ってもらおう」とかということ。毎回の編集会議では、前号より一歩改善を進めて、皆さんに近づく紙面づくりに努めております。

議会では現在「議会基本条例」の制定を目指して、議会改革検討会を中心に月3回の検討会を開催して、3月定例会での成立に向けて努力しております。

議会だよりは町民と議会とのパイプとして益々その役割が増しております。役立つ紙面づくりに町民の皆様のご協力、ご支援をお願いいたします。

新年を迎えられた町民の皆さまには、益々のご多幸とご健康でありますよう心からご祈念申し上げます。(三輪 正)